

:

1 ポートエッセイ

— 港湾協会総会の開催地

松山市の奥深い魅力を堪能 —

～ 日本港湾振興団体連合会会長 篠田 昭 ～

:

日本港湾協会の第89回定時総会が先月26日、愛媛県松山市で開催された。私も同協会理事・日本海北陸地区支部長として会議に参加。松山市の奥深い魅力に触れる機会を得た。以下、報告する。

総会では、国土交通省港湾局の菊地身智雄局長から「港湾行政一般報告」をいただいた。先月号で触れた熊本地震の際の港湾の活用についても説明があったので若干報告したい。

「震災発生後、港湾管理者をはじめとする関係者による速やかな点検・復旧作業により」（菊地局長）、熊本港や八代港、大分港などに支援物資を積んだ海上自衛隊の輸送船や海上保安庁の巡視船がまず入港し、支援物資の輸送拠点として港湾が大きな役割を果たしたという。本震のあった翌日の4月17日には奄美海上保安部巡視船「あまぎ」が熊本港に入り主に給水支援。八代港には佐世保地方総監部の手配で海上自衛隊の輸送艦「おおすみ」が非常用食料約6万6千食などを運送した。同じ日に大分港には呉港から海上自衛隊の輸送艦「しもきた」がブルーシートなどを荷揚げしたという。

国交省は4月16日から博多港や別府港、大分港に飲料水や食料を輸送した。熊本港には九州地整局に配備されていた海洋環境整備船2隻を活用し、同日から5月2日までに3千5百人の方に11万2千リットルの飲料水を提供したと報告された。わが北陸地方整備局に配備されている大型浚渫兼油回収船「白山」も4月21日には博多港に到着し、救援の一翼を担ったという。

やはり、災害時に港湾や船舶の果たす役割が極めて大きいことが熊本地震でも実証されたようだ。ただ、残念なのはそのことが全国的にはあまり報道されなかったことだ。報道への露出度を高めることが、港湾の重要性を伝えることになるので今後の研究課題と感じている。

会議の前後には松山市の魅力を味わった。司馬遼太郎の小説「坂の上の雲」に象徴される松山のアピールポイントを徹底的に押し出す姿勢には学ぶべき点が多い。「坂の上の雲ミュージアム」には市民ボランティアがガイド役を務め、松山が生んだ明治の偉人たちを誇らしく説明していた。道後温泉の存在感も大きく、それをうまく坊ちゃん電車など路面電車でつないでいる。NHKの人気番組「ブラタモリ」も制作しやすかっただろう。

松山の街角では「この街で」のメロディーがよく聞かれた。「千の風になって」を作曲した新井満さんに依頼してつくってもらった曲だそうで、歌詞に「松山」の名前は一回も登場しないけれど、「坂の上には白い雲」のフレーズで松山と知れるつくりになっている。新井さんからは「俳人の正岡子規を生んだ土地柄か、松山の人言葉大切にしている方が多い」と聞いたことがある。確かに中村時広・愛媛県知事も野志克仁・松山市長も見事な語り口だった。松山には奥深い魅力があった。

*:**

2 トピックス

*::~

●酒田港 講演会「酒田港と庄内地域を考える」開催

酒田市商工観光部 商工港湾課

庄内開発協議会・酒田港湾振興会が主催する「講演会『酒田港と庄内地域を考える』」が4月9日午後、酒田市内で開催されました。講演会には約200人が出席し、現在、全国の港湾と比較しても酒田港は秀でて活況であることを聞き、更なる港湾整備へ向けた機運が盛り上がりました。

主催者の庄内開発協議会・酒田港湾振興会両会会長である丸山至酒田市長があいさつに立ち、平成28年度、国際コンテナターミナルがある酒田港高砂ふ頭2号岸壁の延伸について国費として調査費がついたことを報告、来賓として出席した衆議院議員で国土交通委員会委員の加藤鮎子氏、山形県知事吉村美栄子氏の代理で山形県庄内総合支庁長の齋藤稔氏、酒田港の振興に尽力する東方水上シルクロード貿易促進協議会の新田嘉一会長がそれぞれ祝辞を述べられました。

続いて、プレゼンテーションでは、酒田港の好調をけん引する花王株式会社酒田工場工場長の谷本均氏より、「酒田港を基点とした花王の“よきモノ”づくり」として、酒田工場での生産・出荷における酒田港の活用の説明がなされ、講演では、講師に国土交通省港湾局長の菊地身智雄氏をお迎えし、「みなとを活かした地域づくり」と題して講演され、2年連続で国際定期コンテナ貨物取扱量が過去最高を記録していることに触れ、酒田港での好調なコンテナ貨物の増加率は、2年連続で全国一であるとのお話しに会場に詰めかけた参加者は熱心に耳を傾けられていました。



来賓挨拶に立つ 加藤 鮎子 衆議院議員



花王株式会社酒田工場 谷本 均
工場長によるプレゼンテーション



国土交通省 菊地 身智雄 港湾局長



多くの参加者が講演に耳を傾ける

●BLUE FLAGを若狭和田ビーチが日本で初めて取得！！

北陸地方整備局 敦賀港湾事務所

若狭和田ビーチ（福井県高浜町）は、今年4月14日に、ビーチ・マリーナの国際環境認証である「BLUE FLAG」を日本で初めて取得しました。若狭和田ビーチのある高浜町では環境面・安心安全面・環境教育面で国際的に優れた特徴あるビーチを目指し、活気あるものにしていきたいとのことです。今後、7月3日には若狭高浜トライアスロンが、7月9日・10日にはビーチラグビーなどが予定されています。

ブルーフラッグとは・・・

世界約50カ国・約4,000箇所で取得されているビーチ・マリーナの国際環境認証です。取得するには、4項目33基準が定められており、厳しい審査をクリアしたビーチ・マリーナのみ「優れたビーチの証」として世界に認定されるものです。

詳しい情報は「BLUE FLAG TAKAHAMA」で紹介しています。

URL <http://www.wakasa-takahama.jp/blueflag/index.html>



BLUE FLAG認定書
（若狭和田海水浴場）



●花嫁行列 街道に春（みなとオアシス江差）

北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課

5月3日、昔の家並みを再現した「みなとオアシス江差」の「いえにし街道」で、昔ながらの花嫁行列が行われました。この行事は地元商店街などが主催する大型連休の恒例行事。振り袖姿の花嫁たちは、地元の若者が祝い歌の「切り声」を歌う中、姥神大神宮までの約700メートルを行進し、沿道の観光客や町民から多くの祝福を受けました。



（花嫁行列の様子）

●人道の港“敦賀”をサミットでPR！！「リンゴ型タオルを配布」

北陸地方整備局 敦賀港湾事務所

5月26・27日に開催された伊勢志摩サミットにおいて、敦賀市ゆかりの「リンゴ型タオル」が各国代表団や報道関係者に記念品の一つとして、配られました。

リンゴ型のタオルは、第2次世界大戦中に敦賀港に上陸したユダヤ人難民に地元の少年がリンゴをあげたことにちなんだものであり、この「人道の港敦賀」のエピソードを浸透かつ印象付け、ムゼウムなどの施設や敦賀港の利用促進を図ることを目的として、敦賀市が作製したものです。

敦賀市は、サミット向けに4,000個を作製しました。リンゴ型タオルには、リトアニア領事代理 杉原千畝氏が発給した「命のビザ」で約6,000人の難民が上陸した港が敦賀港であったことを伝えた説明書も添えられました。人道の港を象徴する「リンゴ型のタオル」により敦賀に観光客が増えることを期待します。

詳しい情報は「人道の港敦賀ムゼウム」で紹介しています。

URL <http://www.tmo-tsuruga.com/kk-museum>



タオルは、縦34cm、幅8.5cmのフェイスタオル。

特殊な機械で高さ、直径ともに約5cmのリンゴ型に圧縮し、赤いアルミホイルで覆っている。

●名古屋港 クルーズ船の寄港地として“選ばれる港”を目指し、官民連携のおもてなしを実施

中部地方整備局 名古屋港湾事務所

平成 28 年 4 月 28 日（木）、大型外航クルーズ船「マリナー・オブ・ザ・シーズ」が名古屋港に寄港しました。今回の寄港は、今年に名古屋港に寄港が予定されている大型外航クルーズ船 8 隻のうちの 2 回目で、外航クルーズ船の名古屋港への寄港を促進すべく、学生ボランティアによる乗員向けツアーや、横断幕によるお出迎え・お見送り等の港のにぎわい創出に向けた取組を、地域の官民が連携し実施しました。

名古屋港金城ふ頭への大型外航クルーズ船寄港は昨年まで（2015 年は 4 回）より増加し、今年度はあと 6 回予定されています。中部地方整備局では、クルーズ船の寄港促進に向け、今後も検討を進めていく所存です。



【横断幕を用い、乗客をお出迎え】



【別れを惜しむ乗員と学生ボランティア】

●茨城港常陸那珂港区中央ふ頭水深12m耐震強化岸壁の完成・供用式典を開催しました
関東地方整備局 鹿島港湾・空港整備事務所

平成28年5月23日（月）、茨城港常陸那珂港区中央ふ頭内（ひたちなか市）におきまして、中央ふ頭水深12m耐震強化岸壁の完成・供用式典を開催しました。

当日は一面の青空の下、津田国土交通省大臣官房技術参事官を始め、地元選出国會議員、地元議会議員、港湾関係者150名の皆様が出席されました。

式典は、津田大臣官房技術参事官及び橋本茨城県知事からの主催者挨拶で始まり、来賓として御出席されました梶山衆議院議員と海野茨城県議会議員からの祝辞のほか、石井国土交通大臣からのメッセージを頂きました。

その後、中嶋鹿島港湾・空港整備事務所長から事業概要説明を行い、橋本茨城県知事、梶山衆議院議員ほか6名によるテープカットが行われました。

今回供用する岸壁は、水深12m、延長270mの耐震強化岸壁で7万5千トンクラスの大型RORO船の着岸が可能なものです。茨城港常陸那珂港区における取扱貨物量の増加に対応するとともに、大型RORO船の常時2隻接岸が可能となり、船混みにより発生している滞船や他港へのシフトが解消され、輸送コストの削減が期待できます。

また、地震等の大規模災害発生時には緊急物資輸送や物流機能維持の役割を担います。



津田 国土交通省大臣官房技術参事官



橋本 茨城県知事



梶山 衆議院議員



海野 茨城県議会議員



テープカットの模様

●「伏木富山港（新湊地区）国際物流ターミナル延伸整備事業着工式典」を開催

北陸地方整備局 伏木富山港湾事務所

平成28年5月28日（土）、新湊出張所構内において「伏木富山港（新湊地区）国際物流ターミナル延伸整備事業着工式典」を開催し、地元選出国會議員をはじめ国、県、市などの来賓約60名のほか地元小中学生など総勢180名が参加しました。

本事業は、既設岸壁を75m延伸整備することにより、大型コンテナ船の2隻同時着岸が可能となり、コンテナ輸送の定時性が向上し、安定した企業活動が確保されるとともに、今後のコンテナ取扱能力の拡大への対応や企業のバックアップ輸送体制の構築に寄与するものと期待されています。

式典では、藤山秀章北陸地方整備局長が式辞を述べ、津田修一国土交通大臣官房技術参事官の挨拶と続き、石井隆一富山県知事、橘慶一郎衆議院議員、野上浩太郎参議院議員、矢後肇富山県議会副議長、夏野元志射水市長、津田信人射水市議会議長から祝辞を頂きました。

その後、当事務所森所長の事業概要説明、射水市立放生津（ほうじょうづ）小学校児童との共同作業による鍬入れと進行し、射水市立射北（しゃほく）中学校吹奏楽部による演奏が披露され、式典は閉幕しました。



【 津田 大臣官房技術参事官 】



【 石井 富山県知事 】



【 鍬 入 れ 】

●いわて・大船渡港セミナー2016の開催について

大船渡市 商工港湾部 企業立地港湾課

平成28年6月1日（水）東京都内において、大船渡港物流強化促進協議会が主催し、「いわて・大船渡港セミナー2016」を開催しました。

戸田公明大船渡市長によるプレゼンテーションでは、復興まちづくりの状況、水産業など生業の再生状況、クルーズ客船誘致を活かした観光施策について説明を行いました。

また、平成25年9月に開設した国際フィーダーコンテナ定期航路については、順調に増加している取扱量を紹介するとともに、常時、静穏性の保たれた大船渡港の魅力、県内陸部との工業団地とを結ぶ道路の整備状況についてPRし、大船渡港の利用促進について呼びかけました。

東北大・岩手大学客員教授の吉岡正和氏による「国際リニアコライダー（ILC）と港湾・物流」と題した講演会では、ILC計画やILCの建設・運用による物流の拡大による港湾の重要性についての説明、ILCを契機としたまちづくりの提言がありました。

本セミナーには、約230名の参加があり、大船渡港を利用した物流に対する関心の高さがうかがえました。



戸田公明大船渡市長あいさつ



プレゼンテーションの様子

●「飛鳥Ⅱ」大船渡港寄港30回記念「大船渡キッズ『飛鳥Ⅱ』船内探検隊」の開催について

大船渡市 商工港湾部 観光推進室

平成28年4月から6月にかけて、客船「飛鳥Ⅱ」が大船渡港に3ヶ月連続3回入港し、「飛鳥Ⅱ」の大船渡港寄港は5月19日（木）で、先代「飛鳥」から通算すると記念すべき30回目の寄港となりました。

この記念寄港にあわせ、入港歓迎行事アトラクションに出演した市内の5つの保育園児136名を招き、青少年の海事啓発の普及、港や船に関わる仕事への理解を深め、また、クルーズ客船が寄港するまち「大船渡」を肌で感じてもらおうと、郵船クルーズ株式会社及び公益社団法人東北海事広報協会の協力により、船内見学会「大船渡キッズ『飛鳥Ⅱ』船内探検隊」を開催しました。

「飛鳥Ⅱ」の乗務員の案内のもと、園児たちは目を輝かせながら、日本最大のクルーズ客船「飛鳥Ⅱ」の船内を「探検」しました。

また、船上からは、普段見ることのできない大船渡の風景の素晴らしさに歓声をあげていました。



探検の前に「飛鳥Ⅱ」の乗務員にあいさつをする園児たち



「探検」を終え、「飛鳥Ⅱ」の前でにっこり笑顔



船上から大船渡市内の景色に歓声をあげる園児たち

*:

3 お知らせ

*:

◇ ～海でつながるプロジェクト～

第5回深日港活性化イベント深日港フェスティバル

実施内容：深日港フェスティバルは深日港の持つ魅力を、住民をはじめ多くの方々に知っていただくとともに、地域の活性化への起爆剤として、深日港を中心としたイベントを開催するものです。

開催日：平成28年6月26日（日）

開催場所：大阪府泉南郡岬町深日（深日港荷揚げ場及び深日港内）

主催：深日港活性化イベント実行委員会（事務局：岬町まちづくり戦略室）

共催：みなとオアシスみさき

後援：国土交通省近畿地方整備局、国土交通省近畿運輸局、大阪府、岬町教育委員会

実施内容：

【海上イベント】

淡路島観光ツアー、岬町観光ツアー、旅客船ミニクルーズ、海洋環境船海和歌丸見学会、大阪水上警察署警備艇見学会

【ステージイベント】

教円太鼓、主催者挨拶、孫市の会 鉄砲演武、よさこいソーラン美咲、太鼓集団潮、淡路人形浄瑠璃、淡路島三熊踊り保存会 三熊連、ビンゴ大会

【ブースイベント】

物産販売・飲食コーナー、防災・啓発コーナー、泉州南広域消防本部消防フェア

【その他イベント】

洲本市交流イベント、PRコーナー

◇「関西総合物流活性化モデル」PRセミナー開催

開催日：平成28年7月6日（水） 14:00～16:00

開催場所：公益社団法人 関西経済連合会 29階会議室

（〒530-6691 大阪市北区中之島6丁目2番27号（中之島センタービル））実施

内容：本セミナーでは、これまでの阪神港を対象とした「阪神港利用促進プロジェクト」と関空を対象とした「関空物流ニュービジネスモデル促進事業」を発展的に統合し、新たに創設した「関西総合物流活性化モデル認定事業」について、当チームにおいて平成27年度に認定した5事業をご紹介します。

これを機会に、阪神港及び関空からの国際物流のさらなる拡大にご興味をお持ち頂ければ幸いです。

主催：国際物流戦略チーム事務局

国土交通省 近畿地方整備局 港湾空港部

国土交通省 近畿運輸局 交通政策部

国土交通省 大阪航空局 空港部

公益社団法人 関西経済連合会 地域連携部

◇「この空と東三河の海が好き」をテーマに、7月に海フェスタ東三河を開催！

海フェスタは、「海の恩恵に感謝し、海洋国日本の繁栄を願う日」という「海の日」本来の意義を再認識し、海に対する関心を持つことを目的として、毎年、海にゆかりのある自治体で開催されています。

今年、海フェスタは、愛知県三河港周辺の東三河8市町村で開催されます。主会場は三河港神野ふ頭地区周辺で、海上自衛隊護衛艦「こんごう」や練習帆船「海王丸」などの大型船一般公開や三河港の特色である輸入自動車を中心としたモーターショー、東三河交流ステージなど東三河ならではのイベントが盛りだくさんです。是非とも海フェスタ東三河へお出かけ頂きますようお願い致します。

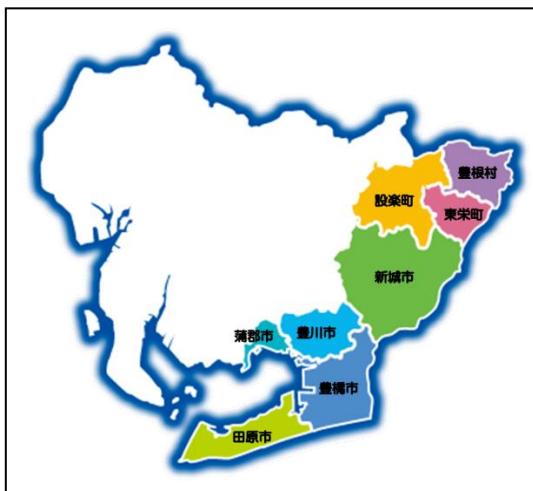
開催日：平成28年7月16日（土）～平成28年7月31日（日）16日間

開催場所：豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村

主な催事：各種式典、海の総合展、船舶寄港、賑わいイベント

主催：海フェスタ東三河実行委員会

※海フェスタ東三河公式ホームページ <http://www.umifesta-higashimikawa.jp/>



【「海フェスタ東三河」開催場所】



【「海フェスタ東三河」シンボルマーク】

◇鳥羽みなとまつり

鳥羽湾の空と海を彩る海上の花火大会。

約 5,000 発の花火が打ち上げられ、花火や遊覧船の光が水面に反射して幻想的な景色を楽しむことができます。

開催場所：

近鉄・ＪＲ鳥羽駅前鳥羽マリンターミナル周辺

開催日：平成２８年７月２２日（金）

開始時間：花火打上 ２０：００～

アクセス

（公共交通機関）

近鉄・ＪＲ鳥羽駅下車 徒歩８分

鳥羽バスセンター下車 徒歩７分

（車）

伊勢自動車道伊勢 IC より伊勢二見鳥羽ライン

経由約 10 Km

※会場周辺に有料駐車場あり（約 500 台）

※駐車場が少なく早い時間に満車になります。

なるべく公共交通機関をご利用ください。

打上発数：５，０００発以上

詳しくはホームページで

<http://www.toba.or.jp/minatofes/>



◇～未来に残そう 青い海～

第31回東京湾クリーンアップ大作戦 “きれいな海をまもる船 大公開 in 横浜港”

開催日：平成２８年７月２３日（土）

開催場所：横浜港新港5号ふ頭

概要：「クリーンアップ大作戦」は「海の月間（７月１日～３１日）」の行事として、東京湾内における海面浮遊ゴミ及び油の回収業務の重要性と、その実態を市民の皆様にご覧いただきとともに、ゴミを海や川に捨てないように呼びかけを行うものです。

横浜港では、“きれいな海をまもる船 大公開 in横浜港”と題して、東京湾の浮遊ゴミ回収の実態や海の環境改善の取り組みを紹介したパネル展示、国土交通省関東地方整備局所属の清掃兼油回収船「べいくりん」や横浜海上保安部所属の消防船の船内見学、横浜市所属の清掃船、消防艇の展示などを行なうイベントを開催しますので、是非お出かけください。

http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/kyoku/clean_up/index.html

◇第１０回ビーチライフ in 新潟

開催日時：平成２８年７月３１日（日）９：３０～１６：００ ＊荒天時中止

会場：新潟西海岸（日和山浜海水浴場）

概要：ビーチスポーツ（ビーチフラッグス、ビーチ相撲等）をはじめ、アサリ採り、スイカ割り、宝さがし、モーターボートや水上バイクの操船体験を実施。ビーチサッカー大会とビーチバレー大会も同時開催（事前募集）

主催者：第１０回ビーチライフ in 新潟実行委員会

問合せ：実行委員会事務局 吉江 常浩 025-223-7716

◇輪島港における緊急支援物資輸送等訓練及び一般公開

開催日：平成28年8月上旬

会場：輪島港

概要：大型浚渫兼油回収船「白山」による緊急物資輸送訓練及び油回収訓練等を実施

主催者：輪島市

共催：国土交通省北陸地方整備局

問合せ：国土交通省北陸地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課
TEL025-280-8759

::* 本メールマガジンに関するお問合せやご意見、また情報の送り先 *:*:*

日本港湾振興団体連合会事務局

〒105-0003 港区西新橋2-16-1

TEL：03-5776-0630

FAX：03-5776-0631

e-mail：bef06323@nifty.com

: